

JA尾張中央

自己改革実践報告



自己改革とは、「農家の所得向上」、「農業生産の維持拡大」、「地域の活性化」の実現に向けた施策の具体化・見直しを行い、地域農業とくらしに必要な組織となることを目指す改革です。

そこで、JA尾張中央では、農家の所得向上と組合員のくらしを支える地域サービスの安定的提供を目指し、自己改革の実践及び3ヵ年計画に基づく取組みを進めています。



◆ 自己改革実現のために

J A尾張中央は、総合事業のメリットを発揮し、組合員・利用者から期待されるよう、J Aグループ愛知が掲げる3つの取組み「農家の所得向上」、「組合員とJ A役職員の徹底した話し合い」、「准組合員の農業応援団化」に対し、独自の自己改革ベンチマーク（取組具体策）を設定し、組織を上げて取り組んでいます。

◆ J A尾張中央の目指す姿

「地域農業の活性化・くらしの支援・健全な経営基盤の構築」を基本方針に掲げ、総合事業の使命と役割を果たし、「地域と農業とくらしを支える存在」となる事を目指します。

◆ 自己改革の主な実践項目（抜粋）

実 践 項 目	
管内農業の姿を描く	① 担い手世帯へ訪問し、意見・要望等をお聞きします。
J Aが農家をサポート （農家の育成）	② 認定農業者に営農計画作成の支援をします。
	③ 営農渉外担当者が中核的担い手を訪問し手厚く対応します。
	④ 多様な担い手に栽培講習会・指導をします。
	⑤ レンタル農機で地域組合員をサポートします。
農業収入増加（販売強化）	⑥ 産直出荷者へ計画作付品目を提案し、農産物の販売力を強化します。
生産コスト低減	⑦ 近隣店舗の価格調査、近隣 J A との一括仕入れの検討、予約注文の普及により生産資材価格の低廉化を実現します。
J Aの人材・施設強化	⑧ 経済事業関係の資格を取得させ、地域農業の発展に寄与できる職員を育成します。
	⑨ 産直新システム導入により実績管理を徹底し、有益な情報を提供します。
徹底した話し合い	⑩ 各部会との徹底した話し合いを通じて、組合員の意思を事業運営に反映します。
准組合員の農業応援団化	⑪ 産直施設を利用し、地元産農産物の消費等を通じて農業を応援する准組合員を増やします。

◆ 自己改革の取組みと実績

◎多様な担い手への野菜栽培講習会の実施

多様な担い手を育成し、産直を活性化させるため各種栽培講習会を実施し、栽培技術や知識の習得を支援しています。

(H30.9 末現在)

講習名	実施年度	回数	参加者数	研修内容
産直出荷者 研修会	平成28年度	29回	294人	野菜、果樹、花卉及び安全・安心 研修会（農薬の安全使用）
	平成29年度	29回	344人	野菜、果樹、花卉及び安全・安心 研修会（食品表示）
	平成30年度 上半期	18回	225人	野菜、果樹、花卉

◎農家をサポート

農機のレンタルを行い、組合員の農作業の軽減化・効率化を図ります。また、中古農機具の販売により、農業にかかる費用の削減に努めます。

項目	サポート内容
小型管理機及びバックホー貸出	小型管理機 4 台、バックホー（小型油圧ショベル）2 台を 配備して、農作業の軽減化を図ります。
中古農機具の販売	不用となった農機具を低価格でリサイクル販売します。

◎管内農産物の販売力強化

売上向上には品揃えの確保が必要であるため、新野菜の計画作付を提案し農家所得の向上を支援しています。

(H30.9 末現在)

作付品目	作付農家数	販売数量
SL 紫水ナス	21戸	561点
アイコ・イエロー（ミニトマト）	23戸	2,525点
くり将軍（かぼちゃ）	19戸	584点

◎農業関連事業への費用の助成

農家をサポートするため、JAバンクあいち新規就農応援事業の活用や、行政支援が手薄な農業費用を助成し、中核的担い手への手厚い支援に努めています。

(H30.9 末現在)

助成金	助成内容	件数	助成金額
中央会・JA助成金	ビニールパイプハウス	5件	220万円
新規就農者助成金	新規就農者営農支援	4件	63万円
新規就農研修助成金	研修生受入農家支援	4件	566万円

◎親子や子どもを対象とした食農教育

JA尾張中央では、次代を担う子どもたちに「食」や「農」、地産地消への理解を深めてもらうため、田植え・稲刈り体験や農産物の栽培・収穫、更には収穫した農産物を使つての調理など、多彩な体験活動を展開しています。

(H30.9 末現在)

活動名	参加者・参加人数
田植え・稲刈り体験	三ツ渚・牛山・鷹来・柏原・北城・神屋・西尾・味美小学校、入鹿こども育成会、親子で農業体験 計 1,997人
バケツ稲作	高座・大手・八幡・不二・藤山台・松山・味岡小学校、親子で農業体験 計 473人
サツマイモ栽培と収穫 桃収穫・野菜栽培	三ツ渚・北里・米野・鷹来・篠岡・陶小学校、坂下・坂下北・坂下南保育園、牛山幼稚園、入鹿こども育成会、支店ふれあい委員会（春日井・豊場） 計 1,480人
大豆栽培～豆腐作り体験	本庄・篠岡小学校 計 163人
親子料理教室	関田・味美・田楽地区、支店ふれあい委員会（味岡） 計 98人

◎援農ボランティア

農家の収穫作業などを手伝う「援農ボランティア」育成のため、モモ栽培サポータークラブ員の養成とクラブ員による農家支援を行いました。また、労働力支援と合わせて農家との交流を通じてボランティア参加者の農業に対する理解と関心を深めています。

作物	実施年度	支援農家軒数	延日数	ボランティア延べ人数
桃	平成28年度	6軒	11日	39人
	平成29年度	6軒	13日	60人
	平成30年度	8軒	34日	110人